

質問順位	5	質問者	水口典一議員		
件名	項目	要旨		メ	モ
1. 市長の基本姿勢	1. PFI手法の活用について	1. 公共施設の行政と民間の連携は、滝川ふれ愛の里、公営住宅などが象徴的な取り組みであります。新年度以降、公共施設個別施設計画、立地適正化計画が施行されるにあたり、近年の建設費高騰などを勘案し、PFI手法を導入することも選択肢と考えますが、見解を伺います。			
	2. 駅前再開発事業について	1. スマイルビルが閉鎖となり、来春で丸2年となります。やはり駅前には、まちのランドマークと言える地区で、市民からも駅前の衰退がまちの衰退に繋がるとの声が聞こえてきます。駅前には、他にも閉鎖ビルがあり、本市のまちづくりにとりましても重要な位置付けであると考えます。今後、駅前周辺の活用方法として、どのような選択肢があると考えているのか見解を伺います。			
	3. 子育て施策の充実について	1. 今年度より、健やか赤ちゃん支援事業がスタートしました。少子化の時代では、各自治体も各種の支援策を講じており、たいへん有効な施策であると評価します。市長は、今後も子育てには注力したいと発言しておりますが、室内遊戯施設の構想など子育て世代は大きな期待を寄せております。少子化という全国的な課題として、これからの子育てに対し、どのような支援策を検討しているのか見解を伺います。			
	4. 市立病院の医師確保について	1. 2004年度からの医師臨床研修制度により、都市部や有名病院に医師が集中し、地方の医師不足が顕在化されるようになったと推察されます。医師の地域偏在は、生活不安から人口の流出を招き、地方はさらに疲弊していくと考えられます。産婦人科、小児科などの医師確保は、やはり地域偏在の是正を国が制度化することによって確保する必要があり、全国市長会などを通じて、積極的に要請していくべきと考えますが、見解を伺います。			